

## 費用収益の未収・未払と前受・前払 第2問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適切と思われるものを選ぶこと。

1. ×4年7月1日に、取引銀行より¥2,000,000を借り入れ、当座預金口座に入金した。借入の条件は、利払日；6月末、12月末の年2回、年利率；3%、借入期間；1年である。なお、当社の決算日は3月31日である。
2. ×4年12月31日、1.の利払日が到来したので、当座預金口座より支払った。
3. ×5年3月31日、決算につき1.について支払利息の未払に関する仕訳を行う。
4. ×5年4月1日、3.について再振替仕訳を行う。
5. ×5年6月30日、1.の返済日となったので、借入金の元本と利息の合計金額を当座預金口座より支払った。
6. 切手¥20,000分、収入印紙¥80,000分を郵便局で購入し、代金は現金で支払った。
7. 決算にあたり、6.の未使用分を調べてみたところ、切手が¥5,000分、収入印紙が¥15,000分残っていることが判明した。
8. 7.について、翌期首に再振替仕訳を行う。
9. 切手¥35,000分、収入印紙¥115,000分を郵便局で購入し、代金は現金で支払った。
10. 決算にあたり、9.の未使用分を調べてみたところ、切手が¥3,000分、収入印紙が¥12,000分残っていることが判明した。

# 費用収益の未収・未払と前受・前払 第2問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座預金	2,000,000	借入金	2,000,000
2	支払利息	30,000	当座預金	30,000
3	支払利息	15,000	未払利息	15,000
4	未払利息	15,000	支払利息	15,000
5	借入金 支払利息	2,000,000 30,000	当座預金	2,030,000
6	通信費 租税公課	20,000 80,000	現金	100,000
7	貯蔵品	20,000	通信費 租税公課	5,000 15,000
8	通信費 租税公課	5,000 15,000	貯蔵品	20,000
9	通信費 租税公課	35,000 115,000	現金	150,000
10	貯蔵品	15,000	通信費 租税公課	3,000 12,000

## 【解説】

2.  $¥2,000,000 \times 3\% \times 6 \text{ か月} / 12 \text{ か月} = ¥30,000$
3.  $¥2,000,000 \times 3\% \times 3 \text{ か月} / 12 \text{ か月} = ¥15,000$
5. 支払利息 ;  $¥2,000,000 \times 3\% \times 6 \text{ か月} / 12 \text{ か月} = ¥30,000$